

1 医療従事者に対する差別・偏見

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、最前線に立ち、検査や治療に当たる医療従事者とその家族が差別や偏見にさらされています。タクシーへの乗車拒否や家族の出勤、来校、登園拒否。「ばい菌」扱いする言動の広がりなど、数え上げればきりがありません。

医療従事者は感染の恐怖と闘いながら、感染者の命を守るため懸命に働いているのに、その家族までもがなぜそのような差別を受けねばならぬのでしょうか。

2 差別はあいまいな知識と不安や恐怖の中から

差別とは不確かな情報とあいまいな知識、さらに、不安や恐怖が相まって自分に利害が生じたときに表れます。この差別の構造は、人権教育で取り組んでいる部落問題や水俣病、ハンセン病問題など様々な人権課題と相通じるものがあります。

この度の医療従事者に対する差別・偏見の背景には、ウイルス感染への不安や恐怖、自粛要請による経済破綻やストレス等で、社会全体が攻撃的になっていることがあげられます。

3 確かめておきたいこと

確かめておきたいことは、医療従事者は、感染者の命を救うために、感染のリスクを負いながら、命がけで治療に当たっている人たちであり、ウイルス感染の加害者ではないということです。

医療従事者が士気を下げ、医療機関から人材が離れていけば、必要な医療が受けられなくなり、中傷や差別は巡り巡って、自分の命を脅かす行為となるのです。

私たち一人ひとりが、自分や大切な人の命を守るために、今できる感染予防対策に努めましょう。

だれだって いつだって 感染しうるから、



思いやりの 咳エチケット

差別は 許されない

旬のものを簡単アレンジ 「さつまい芋のポタージュ」

健康福祉課 保健予防係 0968・86・5724



【材料（4人分量）】

- さつまいも 140g
人参 60g
玉ねぎ 60g
水 60ml
牛乳 240ml
コンソメ 小さじ1
玄米フレーク 適宜
パセリ 適宜

【作り方】

- 1 さつまいもは皮をむき、1cm幅の輪切りにする。
2 人参は1cm幅の半月切り、玉ねぎも1cm幅のくし形に切る。
3 ①②を10分蒸す。
4 ③と分量の水をミキサーにかける。
5 鍋に④と牛乳、コンソメを入れて加熱する。
6 器に⑤を注ぎ、玄米フレークとパセリを浮かべる。

ひとくちメモ&栄養コメント

健康な成人1日でも類の必要な量は、種類によって異なります。さつまい芋で60g、じゃが芋で110g、長芋で120g、里芋で140gになります。

文芸広場

菊水短歌会

九十歳ささげて重きてのひらに
曼珠沙華なる緋の花咲かそ 東 左千子
秋晴れのさはやかな日誕生日
子ら集ひ来て喜びくるる 池田たかお
遅れて咲きしコスモスの花色鮮や
群に溶けこみ戦ぐ丘の辺 坂口志げ子
暮れなづむ木屋の庭下駄の音
ゆかた姿の亡母見たような 石山 幸子
一夏を共に耐え来し夏衣
謝して箆筒へはやトノボ飛ぶ 阪野 章子
久しぶり声かけくれしあなたはだれ
目だけの顔にとまどう私 荒木 智子
週一の温泉行きを思いきり
一夜ゆつくり料理とお湯に 坂本 竹子
かなしき原俳句会
日を受けて明るき庭の冬薔薇 淑乃
冬紅葉山ふところのワイナリー 康子
庭師来て小春の空の広がりぬ 弘子
稲刈りを終へし農夫の影ながし 誠一
潮騒の一際高し鶴来る 貞子
ヴィオロンのソロ聴ひてゐる秋思かな 明
この冬も齢かさねて生きるべし しん子

菊水俳句会

友訪えば手折りてくれし小菊かな 中山ミサト
被災地に夜の明り増へ冬に入る
いくたびもポチと来た道枯せ 宮中 康雄
澄みきつた秋の夜空に星の群 原 香代子
踏む音の老いても楽し木の実かな 池田 松子
肥後狂句
頭痛の種 猫じゃ家庭はつくられん 井上りんどう
頭痛の種 出来の良か子は家継がん 池田 茜
頭痛の種 ニワトリ起こす義母のおる 庄山 道草
肌寒さ 合わせる肌も無くひとり 高木せいや
肌寒さ 昼は夏日の温暖化 石原かわせみ
きつかなア 流れる我が家みとるだけ 福永 ユリ
きつかなア 乳のみ児残し天国へ 二瀬 桔梗
きつかなア 八十路過ぎると炊事でん 瀬上 歌子

和水町公民館図書室だより

中央公民館図書室 0968・86・2022
三加和公民館図書室 0968・34・3047

開館午前9時～午後10時（年末年始除く） 1回につき1人5冊まで、2週間借りることができます。

2020年も、残り1カ月となりました。今年は、おうち時間が増えて、家の中の整理整頓や掃除が行き届いている人も多いかもしれません。が、やはり新年を迎えるとなると「ここも…」「あそこも…」と気になるところです。そんな時のために役立つ本をご紹介します。ぜひ、ご活用ください。



「スーパー主婦 井田典子の『だわへし』片づけ術」

監修：井田 典子
株式会社：宝島社

「ものを片付けると、時間の使い方が変わって、心も前向きになり人生が変わっていきます」という著者。さらに「片づけは、お金をかけなくても必ず暮らしをよくする『0円リフォーム』でもあります！」というのであれば、やってみない手はありません。



「キレイがつづく！ズボラ主婦の毎日こそうじテクニック」

著者：maria
株式会社：宝島社

毎日気になったところを1か所だけ掃除するくせをつけて、年末の大掃除から解放される家を目指す「こそうじ」。がんばりすぎず、無理をせずという著者の言葉に後押しされて、今年の年末は余裕をもって過ごしたいと思います。